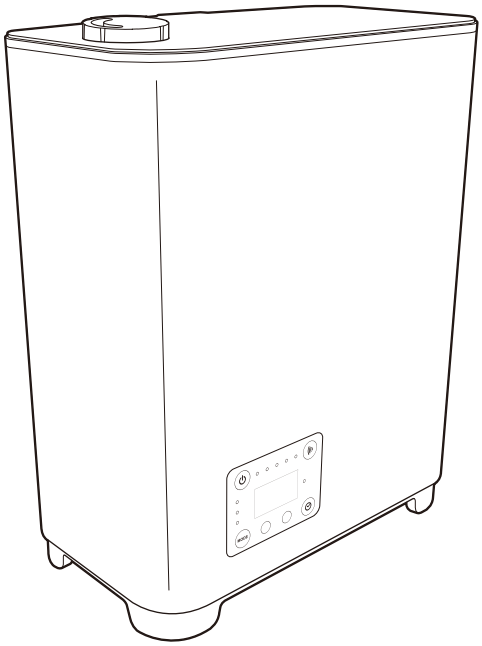
DOSHISHA

mistone 500
カンタン給水 ハイブリッド式 加湿器

KHW-502

取扱説明書・保証書



このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保存してください。

もくじ

安全上のご注意……P. 2～3
各部の名称とはたらき……P. 4～5
使用前の準備……P. 6～7
正しい使いかた……P. 8～12
お手入れと保存……P. 12～14
修理・サービスを依頼する前に……P. 15
アフターサービスについて……裏表紙
保証書……裏表紙

仕　様

型　名	KHW-502
電　源	AC100V　50/60Hz
定格消費電力	98W
加湿方式	ハイブリッド式
加湿性能	1時間あたり《急速》:約500ml/《強》:約400ml/《中》:約300ml/《弱》:約200ml/《微弱》:約100ml
連続加湿時間	約８時間（《急速》運転時）
水タンク容量	約 4.0 L
電源コード長さ	約 1.8 m
外形寸法	約 幅 28 × 奥行き 16 × 高さ 35.5 cm
質　量	約 3.1 kg
付 属 品	取扱説明書・保証書×1、吸気口フィルター×1（本体に装着済）、軟水化カートリッジ×1、水フィルター×1、フェルト×4（1枚は本体に装着済）、掃除用ブラシ×1

● 仕様などは改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
● この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

株式会社ドウシシャ

8B21A

安全上のご注意

●ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 （物的損害とは、家屋･家財･家畜･ペットなどにかかわる拡大損害を示します。）

図記号の意味と例

	⃠は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに絵や文章で示しています。（左図の場合は、「分解禁止」を示します。）
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。（左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。）

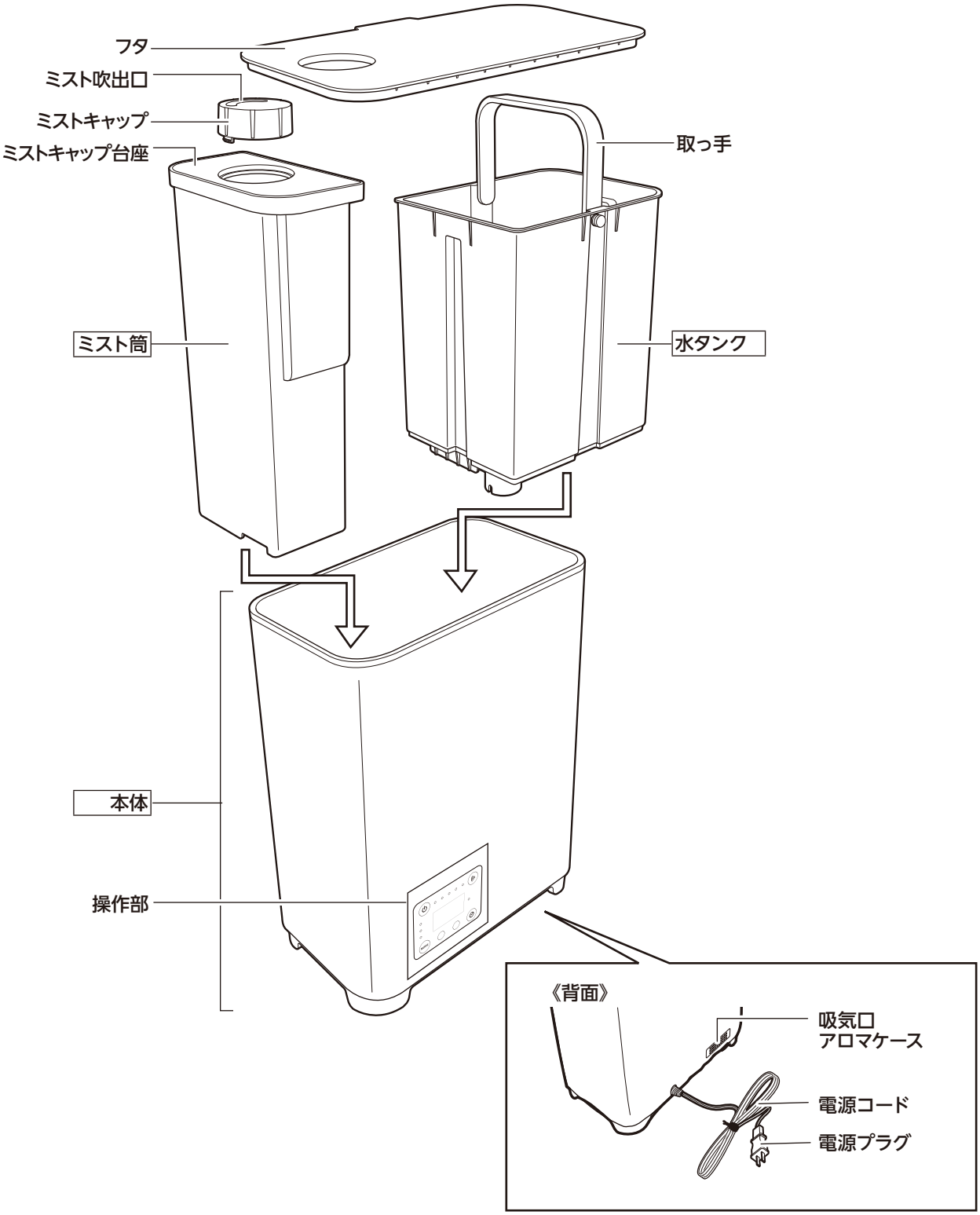
⚠警告

禁止	**交流100V以外では使用しない。** 火災･感電の原因になります。	指示	**電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。** 感電･ショート･発火の原因になります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしない。 火災･感電の原因になります。"		**電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。** ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート･火災の原因になります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電･ショート･発火の原因になります。	プラグを抜く	**使用後は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。** 火災･故障の原因になります。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使用しない。 けが･やけど･感電の原因になります。		**製品の組み立てや取りはずし、お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。** 感電･火災･けがの原因になります。
	本体のすき間にピンや針金などの金属物など、異物を入れない。 感電･けがの原因になります。	分解禁止	**分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。** 火災･感電･けがの原因になります。修理は販売店にご相談ください。
	雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない。 感電の原因になります。	ぬれ手禁止	**ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。** 感電の原因になります。
使用禁止	**異常時（こげ臭い、発煙など）は電源プラグを抜き、使用を停止する。** 火災･感電の原因になります。	水ぬれ禁止	**水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。** ショート･感電の原因になります。

⚠注意

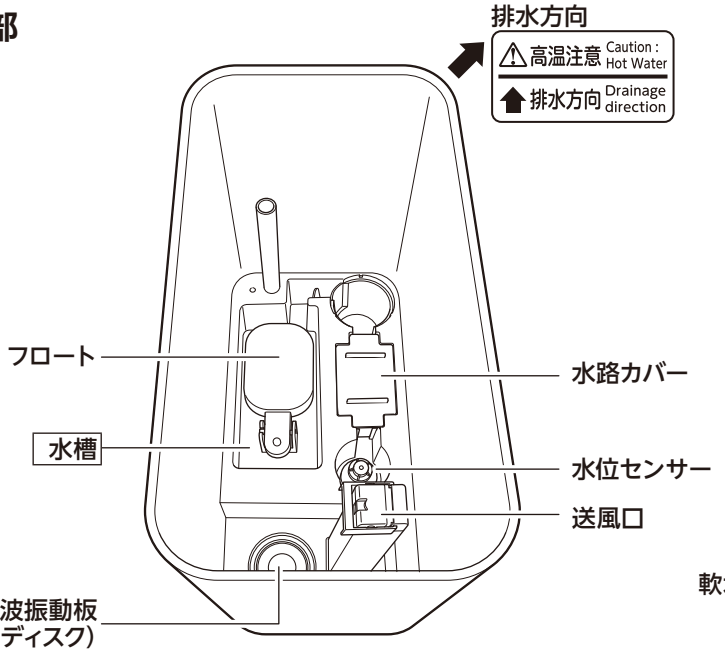
禁止	**湿度の高いところ(85%以上)では使用しない。** 室内を濡らしたり、故障の原因になります。	禁止	**お手入れの際は住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。** 変色・変形・感電・故障の原因になります。
	ミストが直接、家具・壁・カーテン・天井などにあたるところで使用しない。 家具・壁に染みがついたり、変形の原因になります。 本体を壁、家具、カーテン、寝具などから50cm以上離してご使用ください。		**本製品の近くに携帯電話やパソコンなどを置かない。** 加湿器の運転中は、加湿器周囲の湿度が高くなりますので、湿気に弱い携帯電話やパソコンなどの電子機器等は加湿器の近くに置かないでください。 水道水に含まれるミネラル分(カルシウム、マグネシウムなど)がミストと共に空気中に放出され、水分が気化したあと、白い粉状になって室内に拡散されます。人体には無害ですが精密機器、電子機器などの故障の原因になりますので、ホコリや汚れに弱い機器のあるところでは使用しないでください。
	犬やネコなどのペットのためには使用しない。 ペットが本体や電源コードなどを傷め、火災の原因になります。		
	傾いた場所や棚などの高い場所、不安定な場所には置かない。 転倒すると、本体の破損・やけど・けがの原因になります。	指示	**電源プラグをコンセントから抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグをもって抜く。** 感電・ショート・電源コードの断線の原因になります。
	ミスト吹出口に指を入れない。 けがの原因になります。		**本製品を使用しないときは、水を捨てる。** 使用しない水をそのままにしておくと、カビや雑菌が繁殖し異臭の原因になります。 使用しないときは、水タンクと水槽の水を捨ててください。
	ミスト吹出口をふさがない。 変形・故障の原因になります。		**水タンクおよび水槽の水は毎日新しい水道水と入れ替える。本体内部は常に清潔を保つよう定期的にお手入れする。** お手入れせずにお使いになると、汚れや水アカにより、カビや雑菌が繁殖し、異臭の原因になります。まれに体質によっては、過敏に反応し健康を害することがあります。この場合は、医師に相談してください。
	水道水以外は使用しない。 一般的に水道水は塩素殺菌処理されており、雑菌が繁殖しにくいためです。ミネラルウォーター、アルカリイオン水、井戸水、浄水器の水を使用すると、カビや雑菌が繁殖しやすくなったり、水アカが多くなったりして、異臭の原因になります。		**本体の水を捨てるときは、排水方向の矢印の方向から捨てる。** 他の方向から水を捨てると、送風口に水が入るなど、故障の原因になります。
	お湯は使用しない。 40℃以上のお湯を使用すると、変形・誤動作の原因になります。	指示	**凍結に注意する。** 凍結のおそれがあるときは、本体の水を捨てる。
	アロマオイルなど芳香剤を水タンクへ絶対に入れない。 本体の破損・故障の原因になります。		**本製品はテレビ、ラジオなどから2m以上はなして設置する。** 雑音の原因になります。
	次亜塩素酸水、次亜塩素酸ナトリウムは絶対に入れない。 本体の破損、故障の原因になります。人体に害を及ぼすことがあります。		**本体を傾けない。** 水タンクに水を入れたまま本体を傾けると、水がこぼれる原因になります。
	本体をカーペットなどの柔らかい繊維の上に直接置いて使用しない。 吸気口がふさがり、故障・水漏れの原因になります。		

各部の名称とはたらき

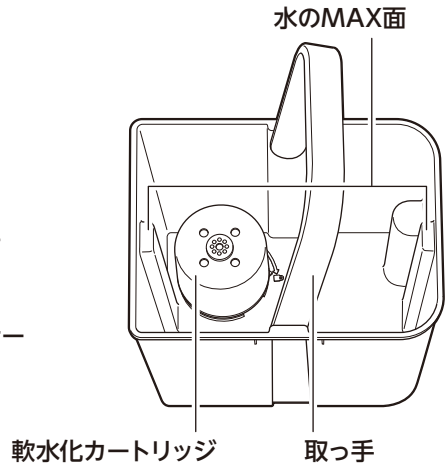


⚠警告	**電源コードを束ねたまま使用しない。** 電源コードの発熱・発火の原因になります。
⚠注意	ミスト吹出口から水を入れない。

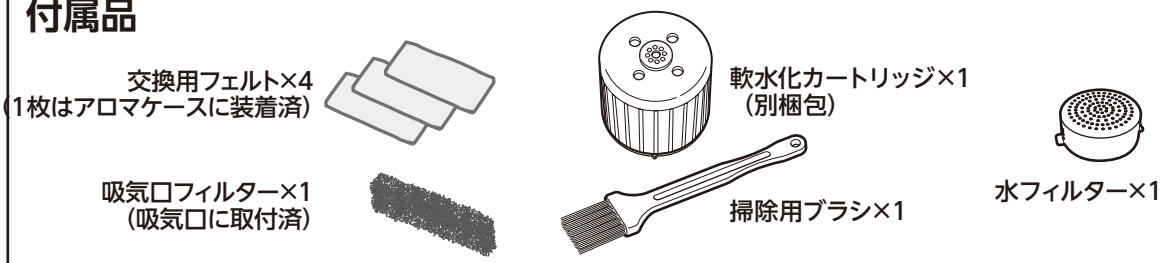
本体内部



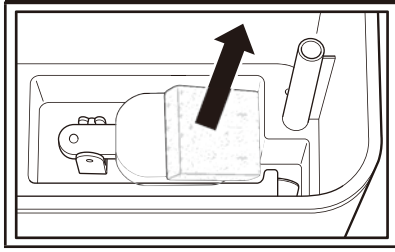
水タンク内部



付属品



使用開始前のご注意



フロートの上の発泡緩衝材を必ず取りはずしてください

購入直後、初めて使用するときに、本体水槽部にあるフロートの上の発泡緩衝材を必ず取りはずしてください。

取りはずさずに使用すると、水もれの原因となります。

⚠注意

- **給水・排水するときや掃除をするとき、送風口や各種ボタンに水が入らないようにする。**
  故障の原因になります。
- **アロマオイルなど芳香剤、次亜塩素酸水、次亜塩素酸ナトリウムを水タンクへ絶対入れない。**
  本体の破損・故障の原因になります。
- **本体を移動させる場合は、先に水タンクをはずし、本体の水を捨てる。**
  水タンクおよび本体の水がこぼれる原因になります。
- **ミストキャップ・ミストキャップ台座・ミスト筒・軟水化カートリッジ・水路カバー・フタを必ず正しく取り付けて使用する。**
- **本体の水を捨てるときは、排水方向から捨てる。**
  他の方向から水を捨てると、送風口に水が入るなど、故障の原因になります。

使用前の準備

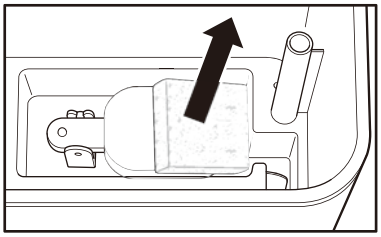
1. 本体を水平な場所に設置する

⚠注意	**テレビ、ラジオなどから2m以上はなして設置する。** 雑音の原因になります。

2. 本体からフタと水タンクを取り出す

水タンクには取っ手があるので、立てて取り出してください。

購入後、初めて使用するときは、フロートの上の発泡緩衝材を必ず取りはずす



《例》

本体水槽部にあるフロートを搬送時固定している発泡緩衝材を取りはずしてください。
取りはずさずに使用すると、水もれの原因となります。

3. 水タンクの底面に水フィルターを取り付ける

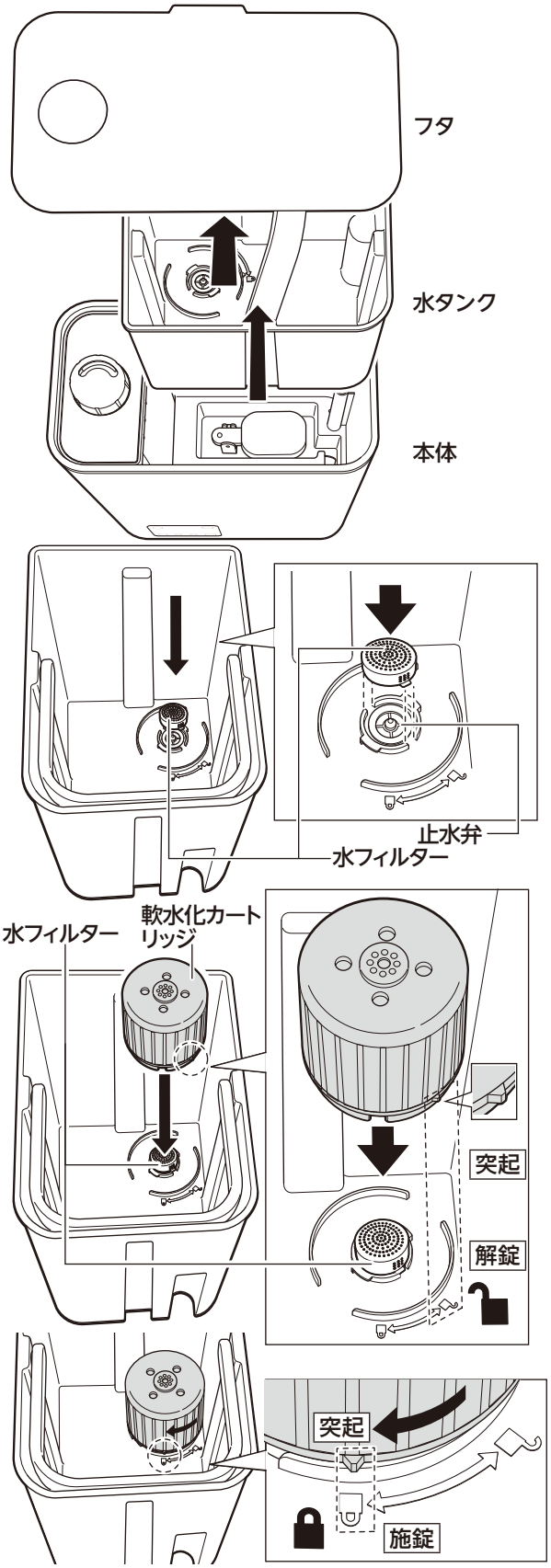
水タンク底面にある止水弁の上にのせるように、水タンク底面の凹みと水フィルターの左右の突起を合わせるように水タンク底面へしっかり押し付けて取り付けます。

4. 水タンクの底面に軟水化カートリッジを取り付ける

水フィルターの上に軟水化カートリッジを取り付けます。

1. 軟水化カートリッジにある突起を水タンク底面にある🔓解錠マークに合わせて取り付けます。
2. 軟水化カートリッジを右回し(時計回り)に回転させ、🔒施錠マークまで「カチッ」と音がするまで回転させます。
3. 軟水化カートリッジがはずれないことを確認してください。

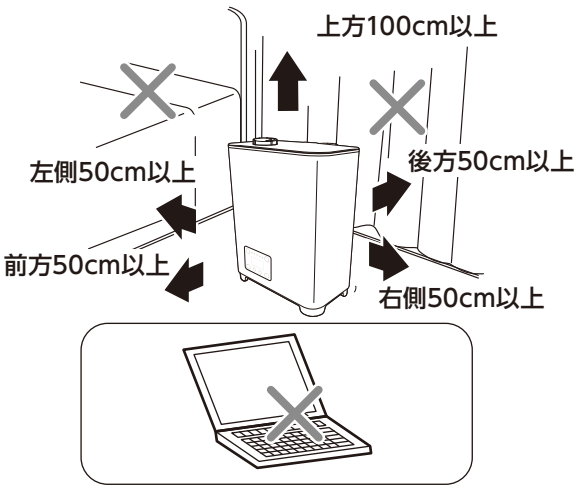
⚠注意	**必ず水タンク底面には、水フィルターと軟水化カートリッジを取り付ける。** 取り付けないと、水漏れの原因になります。



本製品は壁や周囲から適当な距離を保ってください。

本製品の設置は以下の点に注意してください。

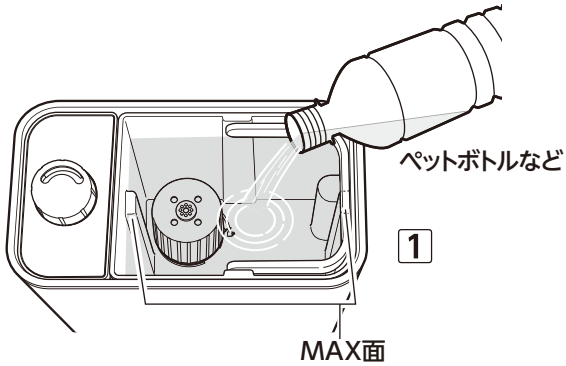
- 本製品は壁、寝具、カーテン、家具などから50cm以上離して設置してください。
- ミスト吹出口を壁、寝具、カーテン、家具に向けないでください。
- じゅうたんなど毛足の長い布の上には置かないでください。吸気口がふさがり、本体の故障、周囲への水漏れの原因になります。
- 本製品を使用すると、水道水に含まれるミネラル分などがミストと共に空気中に放出され、水分が気化したあと、白い粉状になって室内に拡散されます。近くに置いた家具や電子機器などに付着し、白い汚れになったり、機器の機能に悪影響を与えてしまいますので、設置場所には十分注意してください。
- 本製品の近くには携帯電話、パソコンなど湿気に弱い電子機器、精密機器は絶対に置かないでください。



5. 給水する

水タンク両脇にある、突起がMAX面で、水位満水位置です。これより下の水位まで水を入れてください。

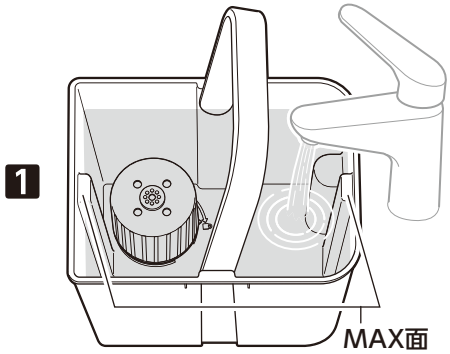
⚠注意	• **水道水以外の水は使用しない。** • **水タンクのまわりに付いた水滴などは必ず拭き取る。**



水タンクに直接水を入れる《上部給水》

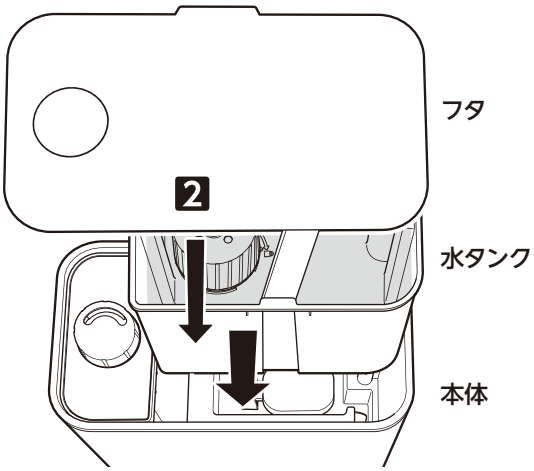
水タンクを本体から取り出すことなく、フタをはずして、そのまま給水することもできます。

1 水タンクに直接、ペットボトルなどを使用してきれいな常温の水道水を、MAX面を超えないように入れてください。
給水後、フタを取り付けてください。



水タンクをはずして給水する《水タンク給水》

1 水タンクに直接、きれいな常温の水道水を、MAX面を超えないように入れてください。
2 本体に水タンクを確実に取り付け、取っ手を倒し、フタを取り付けてください。



6. 電源プラグをコンセントに差し込む

水が供給されていない状態では、ブザーが5回鳴り、給水ランプが赤色で点灯します。

⚠注意	**電源コードを本体の下に通さない。** 火災・事故・感電の原因になります。

⚠警告	• **電源コードを束ねたまま使用しない。** 電源コードの発熱・発火の原因になります。 • **外出や本体から長時間離れるときは、電源プラグをコンセントから抜く。** 事故・火災の原因になります。

正しい使いかた

運転の開始／停止

1. ⏻電源ボタンを押して運転を開始する

⏻電源ボタンを押すと電源が入り、表示部に本機で計測された湿度が表示されます。

本機の湿度表示は、本機内部に設置されている湿度センサーによるものです。機器内部の湿度を表示しているため、お部屋の湿度計の表示値と異なることがあります。

- プラグをコンセントに差して、はじめて電源を入れたときはマニュアル運転モード「急速」に設定されています。

2. 《マニュアル運転モード》湿度に関係なく、加湿量を調節するには、加湿量ボタンを押して、加湿量を設定する

加湿量ボタンを押すたびに、「急速」「強」「中」「弱」「微弱」の順に切り替わります。マニュアル運転モードは現在の湿度に関係なく、お好みの加湿量を設定することができます。
お好みの加湿量に調節してください。
※「急速」を選択した場合、「急速」運転を約10分間続けたあと、自動で「強」運転に変更されます。

「急速」の連続加湿運転

マニュアル運転モードで運転中に加湿量ボタンとタイマーボタンを同時に長押しすることにより、急速連続運転モードになります。

- 急速連続運転モード中は「急速」ランプが点滅します。
- ⏻電源ボタンか、加湿量ボタンを押すことにより、連続加湿運転は解除されます。

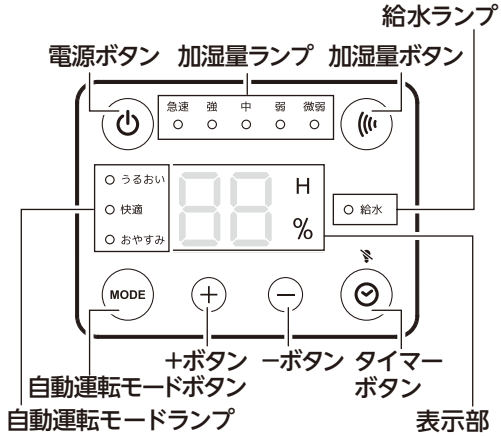
⚠注意	**急速運転を連続で行なうと加湿器の周囲が濡れます。 人のいないお部屋や就寝時には絶対に使用しないでください。**

3. 《自動運転モード》湿度に合わせて自動で加湿運転させるときはMODE自動運転モードボタンを押して、好みの自動運転モードに切り替える

MODE自動運転モードボタンを押すたびに、「快適」「おやすみ」「うるおい」の順に切り替わります。
自動運転モードは、モードごとに設定された湿度まで設定された加湿量で加湿し、湿度に合わせた自動運転を行ないます。

- 詳細は「自動運転モードについて」(10ページ参照)。

操作部



マニュアル運転モードの設定

加湿量設定ボタンを押すたびに下のように切り替わります。

加湿量の設定	加湿量
「急速」	約500 ml/h(切替後約10分間のみ)
「強」	約400 ml/h
「中」	約300 ml/h
「弱」	約200 ml/h
「微弱」	約100 ml/h

自動運転モードの設定

自動運転モードボタンを押すたびに下のように切り替わります。

自動運転モード	湿度	加湿量の設定
「快適」	約50〜60%	「強」
「おやすみ」	約50〜60%	「弱」「微弱」
「うるおい」	約55〜70%	「急速」「強」

⚠注意	**冬場に就寝する際、暖房器具を止めてしまうと室温が徐々に低下、空気が保水できる量が下がってくるため、加湿器のミストが空気中に拡散されにくくなります。** 拡散されないミストは粒のまま自重で落ちて霧雨が降ったように床がしっとりと濡れます。長時間続くと水漏れしたように水溜りとなることがあります。 冬場の就寝時には、自動運転モードの「おやすみ」、またはマニュアル運転モードの「微弱」にするか、状況によっては使用を停止してください。また、タイマー運転の併用をおすすめします。

※就寝時など、静かな環境でご使用の場合「水の音」が気になるときは、運転モード「微弱」でのご使用をおすすめします。

4. 切タイマーを設定する

切タイマーを設定するには◎タイマーボタンを押して、時間(0H)を点滅表示させ、⊕ボタン・⊖ボタンで切タイマー時間を設定します。

- 1H～6Hの範囲で設定できます。
- 設定すると残り時間と湿度を交互に表示します。
- 切タイマー時間はいつでも、◎タイマーボタンを押したあと、⊕ボタン・⊖ボタンで1時間単位で変更することができます。
- キャンセルするときは「0H」に設定すると、そのまま運転を続けます。

5. 運転を停止する

⏻電源ボタン押すと、表示部と表示ランプが消灯し、加湿運転を停止します。
停止後、約1分間送風運転を行ない、そのあと完全に停止します。

6. 電源プラグをコンセントから抜く

⚠警告	**使用後は電源プラグをコンセントから抜く。** 火災・故障の原因になります。
⚠注意	• **長時間ご使用にならないときは、節電のためにも電源プラグをコンセントから抜く。** 待機電力が発生しなくなり、省エネになります。 • **運転中に、停電や電源プラグが抜けたときは、始めから操作をやり直す。** 運転が停止し、すべての設定が解除されます。

運転中に給水ランプが赤色に点灯したとき

給水ランプが赤色に点灯したときは、水タンクの水が足りなくなっていることを示しています。

1. 水タンク、水槽内の水が少なくなるとブザーが5回鳴り、給水ランプが赤色に点灯して加湿運転を停止します。
2. フタをあけ、上部からペットボトルなどを使用して、新しい水道水を給水してください。
3. 水タンクより本体に水が行きわたると、給水ランプが消灯します。
   ⏻電源ボタンを押して、運転を開始してください。

切タイマー機能の設定：
◎タイマーボタンを押して、⊕ボタン・⊖ボタンを押すごとに次のように切り替わります。

6H ↔ 5H ↔ 4H ↔ 3H
(タイマーOFF) 0H ↔ 1H ↔ 2H

切タイマー設定後、表示部はタイマーがはたらくまでの時間と湿度を交互に表示します。時間の経過とともに、切タイマーがはたらくまでの時間の表示が変化します。

6H → 5H → 4H → 3H
消灯(タイマー作動) ← 1H ← 2H

減光モード

本体の操作をしてから約1分経過すると、自動的に点灯しているランプや表示部が減光します。
再度、本体のボタンを押して操作が入力されるとともに減光モードが解除され、ランプや表示部の明るさは通常に戻ります。

消灯モード

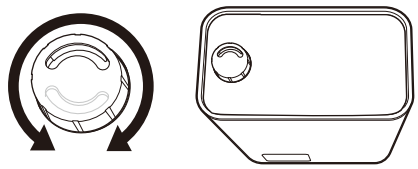
本体の◎タイマーボタンを長押しすると、消灯モードが設定され、給水ランプ以外の点灯するランプや表示部を消灯させることができます。
再度、本体のボタンを押して操作が入力されるとともに消灯モードが解除され、ランプや表示部が点灯します。

消音モード

本体の⏻電源ボタンを運転中に長押しすると、消音モードが設定され、ブザー音を消音させることができます。
再度、⏻電源ボタンを長押しするか、電源プラグをコンセントから抜くと、消音モードが解除され、ブザー音が鳴るようになります。

ミストキャップの回転

ミストキャップは360度回転させることができ、ミスト吹出口の方向を変えることができます。
使用に合わせてミスト吹き出しの方向を設定してください。



自動運転モードについて

MODE自動運転モードボタンを押すたびに、「快適」「おやすみ」「うるおい」の順に切り替わります。

- 自動運転モード設定後は、タイマーボタンを押して切タイマーを設定することができます。
- 各モードの停止する湿度の設定や加湿量設定などは設定することができません。

■ 《快適》自動運転モード：湿度を約50～60%に保つ運転

- 加湿量を「強」（約400ml/h）で、湿度約60%まで連続運転し、約60%を超えると運転を停止します（その後1分間送風運転→完全停止）。
- 停止後湿度の監視を続け、湿度が約50%を切ると、再度運転を開始し、約60%まで運転することを繰り返します。

■ 《おやすみ》自動運転モード：湿度を約50～60%に保つ運転

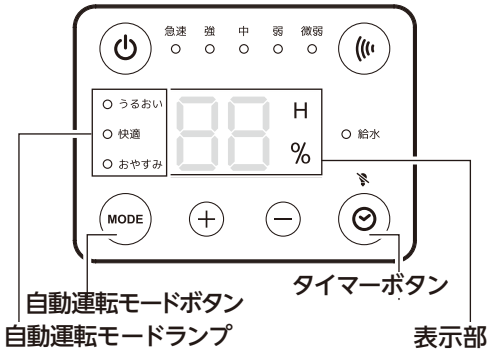
- 加湿量を「中」（約300ml/h）で、湿度約60%まで連続運転し、約60%を超えると運転を停止します（その後1分間送風運転→完全停止）。
- 停止後湿度の監視を続け、湿度が約50%を切ると、再度運転を開始し、約55%まで「弱」運転し、約60%まで「微弱」（約100ml/h）運転、約60%を超えると加湿運転を停止します（その後1分間送風運転→完全停止）。
- 《快適》モードに比べ、「中」「弱」「微弱」で運転するため湿度の上昇には時間がかかりますが、動作音などが少なく静かに運転します。

■ 《うるおい》自動運転モード：湿度を約55～70%以上に保つ運転

- 加湿量を「急速」（約500ml/h）で、湿度約54%まで連続運転し、約55%を超えると運転を「強」に切替えて約69%まで連続運転を続けます。湿度70%で停止します（その後1分間送風運転→完全停止）。
- 停止後湿度の監視を続け、湿度が約50%を切ると、再度運転を開始し、上記のように約70%まで運転することを繰り返します。
- 《快適》モードに比べ、「急速」で約70%まで運転するため、すぐに高湿度が得られますが、動作音が多少大きくなります。

このページでは《自動運転モード》の詳細を説明しています。
通常の《マニュアル運転モード》の使用方法については、8ページをご覧ください。

操作部

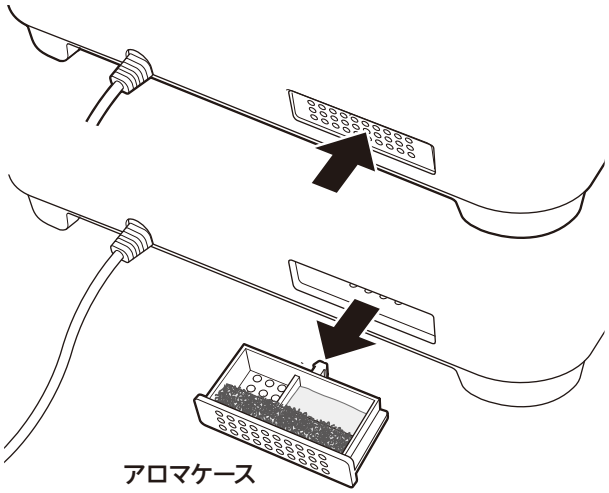


⚠注意	現在の湿度が自動運転モードの設定湿度に達していると加湿運転を開始しません。 マニュアル運転モードから自動運転モードに切替えた場合は運転が停止します。

アロマケースの使いかた

1. 本体に取り付けられているアロマケースを押し込んで引き出す

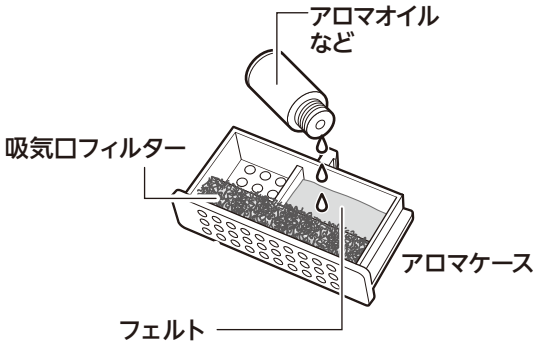
アロマケースの前面を軽く押し込んで指を離すとアロマケースが出てきます。そのまま引き出してください。



2. アロマケースに取り付けられているフェルトにアロマオイルを染み込ませる

アロマケースにフェルトが取り付けられていることを確認してください。市販の『アロマオイルまたはエッセンシャル（天然）オイル』（以下、アロマオイルなど）を外側にこぼれないよう注意しながら2〜3滴フェルトに染み込ませます。

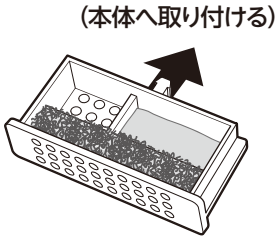
⚠注意	• **アロマオイルなどをアロマケースから溢れるまで入れすぎない。** • **アロマオイルなどがアロマケースの外側に付着した場合は必ず拭き取る。** • **アロマケースの外側にアロマオイルなどが付着した状態で本体に差し込まない。** • **本製品専用のフェルト以外で使用しない。** 本体の破損・故障の原因になります。



3. アロマケースを本体に押し込む

アロマケースの外側に付着したアロマオイルなどは必ず拭き取ります。
アロマケースを本体の取付け部に差し込みます。
アロマケースの前面を軽く押し込んで指を離すとアロマケースが固定されます。

⚠注意	• **吸気口フィルターにアロマオイルなどを触れさせない。** • **吸気口フィルターを取り付けずに運転しない。** 本体の破損・故障の原因になります。



4. 運転を開始する

8ページの「運転の開始／停止」の手順に従い運転を開始してください。アロマの香りを含んだ加湿をお楽しみいただけます。
アロマオイルなどを入れない場合は通常の加湿器としてご使用いただけます。

アロマオイルなどについて
取り扱いについては、アロマオイルなどに付属の取扱説明書をご覧ください。

正しい使いかた（つづき）

フェルトの交換

⚠注意	**取りはずしたフェルトの扱いには十分注意する。** しみこませたアロマオイルにより、周囲を変形・変色させる原因になります。

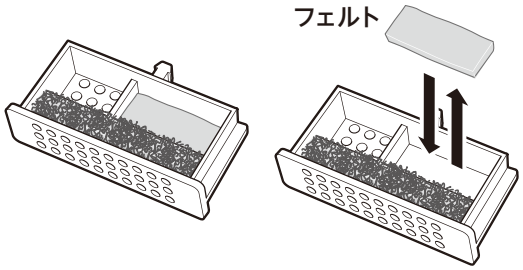
- フェルトが汚れてきた場合や違う種類のアロマオイルなどを使用する場合は、フェルトを交換してください。
- フェルトはご購入時に取り付けられているもの以外に3枚付属品として付属しています。
- フェルトは洗って再使用することができません。
- フェルトはアロマケースの底に装着してください。
- アロマケースは吸気口フィルターをはずし、中性洗剤などで洗い、水気をよく拭き取ってから、取り付けてください。
- 交換用のフェルトは別売しております。

交換用フェルト
商品名　フェルト（4枚）
型番　　AF-KHV502

ドウシシャのパーツ購入はドウシシャマルシェのご利用が便利です。

ドウシシャのパーツ購入は ドウシシャマルシェ
DOSHISHA Marché ONLINE STORE 公式オンラインストアで
https://www.doshisha-marche.jp/

ドウシシャマルシェがご利用できない場合は、お買い上げの販売店またはドウシシャお客様相談室（➡裏表紙）へお問い合わせください。



軟水化カートリッジについて

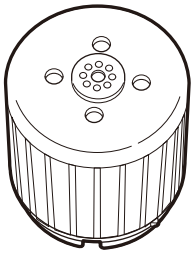
水タンク底面に装着されている軟水化カートリッジは、水の中に含まれるカルキ成分を中和して、水槽内の付着やミストに交じって周囲に飛び散るのを軽減します。

※ 軟水化カートリッジの作用は上記を軽減するものであり、カルキの水槽内付着や飛散をまったくなくすものではありません。

※ 軟水化カートリッジの効果には寿命があります。1シーズン（約半年間）を目安に交換してください。

交換用軟水化カートリッジ
商品名　軟水化カートリッジ
型番　　WSBX-KHV502

※ 使い初めに小さな粒がタンク内に出る場合があります。お手入れの際に捨ててください。



お手入れと保存

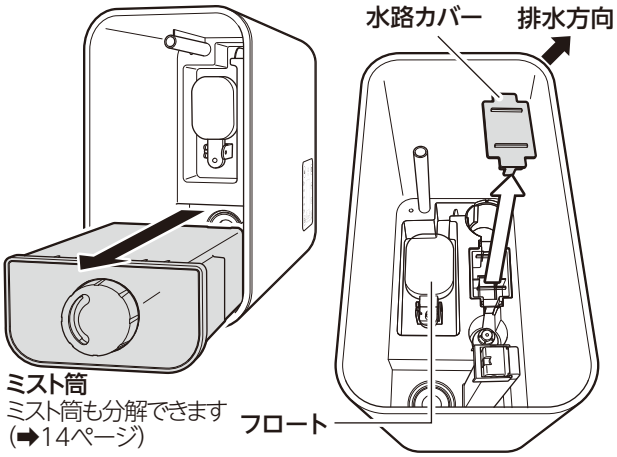
⚠警告	• **水タンクを取り出したあと、本体内部の金属部に触れない。** けが・故障の原因になります。 • **必ず運転を止め、電源プラグをコンセントから抜いて、本体内部が冷えるのを待ってからお手入れを行なう。** 感電・やけど・けがの原因になります。 • **清掃後は、必ず各部品を元通りに取り付ける。** やけど・けが・故障の原因になります。

本体のお手入れ（週に2回以上）

本体に残っている水を捨ててください。

⚠注意	**本体の水を捨てるときは、排水方向矢印のある方向から捨てる。** 他の方向から水を捨てると、送風口や操作部に水が入るなど、故障の原因になります。

- 水を捨てる前に、本体内のはずれる部品《フタ、水タンク、フロート（右下参照）、ミスト筒、水路カバー（右図参照）》をはずしてください。
- 水を捨てるときは、必ず本体に表示されている**排水方向**から捨ててください。
  排水方向以外から水を捨てると、送風口に水が入るなど、故障の原因になります。
  ※水を捨て、水滴をふきとり、よく乾燥させてください。



通常のお手入れ

本体の汚れは、ぬるま湯か食器用中性洗剤（柑橘系を除く）に浸してかたくしぼった柔らかい布で拭きとり、さらに乾いた布でやさしくから拭きをしてください。（強くこすらないでください。傷つきの原因になります。）

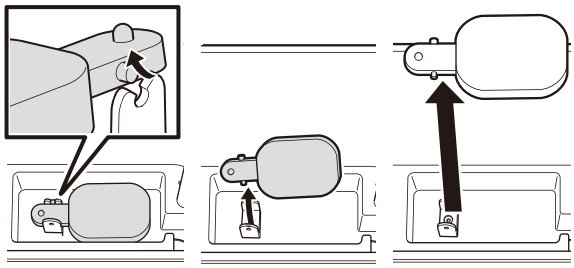
- 本体底面の吸気口のホコリを掃除機などで清掃してください。
- 水を捨て、水滴を拭きとり、よく乾燥させてください。

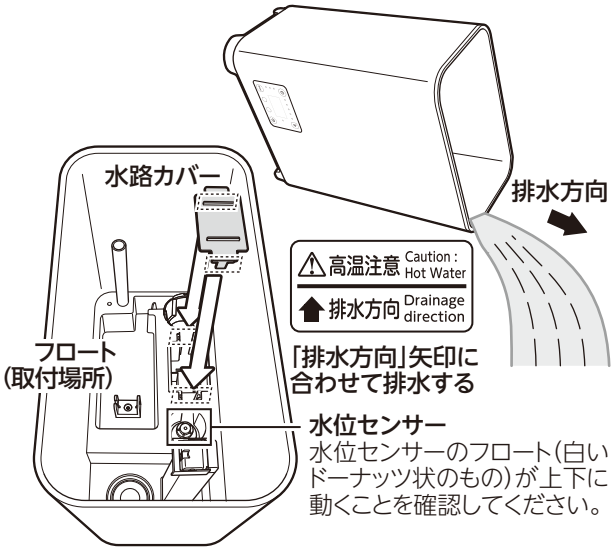
※ お手入れをするとき、オレンジ・ライムなど柑橘系成分の入った食器用中性洗剤を使用しないでください。プラスチックを変色・変質させる原因になります。

- 水路カバーを取りはずした場合、必ず装着しなおしてください。水漏れの原因になります。
- 水路カバー下部脚部（右図点線部）を本体水路の溝部（矢印で指し示している箇所）にしっかりと差し込んでください。
- 取りはずしたフロートも元通りに取り付けてください（突起のある側が上側です）。

⚠注意	**水路カバー・フロートを正しく取り付けて使用する。**

フロートの取りはずしかた





水タンクのお手入れ（週に2回以上）

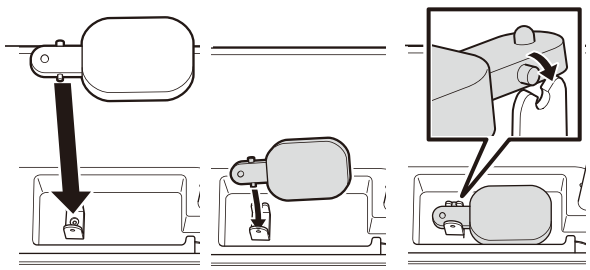
水タンクの内側と外側をきれいに洗ってください。洗って十分にすすぎ、乾燥させたあと、元通りに組み立ててください。

※水タンク内の軟水化カートリッジは、洗剤は使用せず、水洗いをしてください。

⚠注意	**軟水化カートリッジのお手入れには洗剤を使用しない。** 軟水化のための内部の薬剤と洗剤が反応して、本来の働きが得られなくなります。

※必ず軟水化カートリッジの下に**水フィルター**を取り付けてください（6ページ参照）。

はずしたフロートの取り付けかた



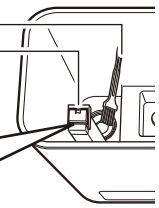
▶▶つぎのページにつづく▶▶

⚠注意

- **ベンジン・シンナーではふかない。**
  変色・変形の原因になります。
- **オレンジ・ライムなど柑橘系成分の入った食器用洗剤を使用しない。**
  変色・変形の原因になります。
- **化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従って使用する。**
  変色・キズの原因になります。
- **水タンクおよび水槽の水は毎日新しい水道水と入れ替える。本体内部は常に清潔を保つよう定期的にお手入れする。**
  お手入れせずにお使いになると、汚れや水アカにより、カビや雑菌が繁殖し、異臭の原因になります。まれに体質によっては、過敏に反応し健康を害することがあります。その場合は、医師に相談してください。
- **水道水以外は使わない。**
  一般的に水道水は塩素殺菌処理されており、雑菌が繁殖しにくいためです。ミネラルウォーター、アルカリイオン水、井戸水、浄水器の水は水アカが多くなったり、カビや雑菌が繁殖しやすくなります。必ず、きれいな水道水をご使用ください。
- **次亜塩素酸水、次亜塩素酸ナトリウム、ジュースなどの飲料水、温水（40℃以上）、化学薬品、芳香剤（アロマオイルなど）、洗剤を入れた水などは絶対に使用しない。**
  水タンクや本体が故障する原因になります。

お手入れ時の注意

加湿運転時には中にあるファンモーターが回り、送風口から風が出て、発生したミストを上に吹き上げます。お手入れ時に水が入らないよう十分に注意してください。



ここに水を掛けないこと！！
中に水が入ると、ミストを吹き上げるファンモーターが壊れてしまいます。

超音波振動板、ヒーター、水槽まわりなどは付属の掃除用ブラシでお手入れしてください
掃除用ブラシはなくさないよう保存し、次回お手入れ時に使用してください。

水タンク以外のお手入れ

本体以外、すべて丸洗いできます。
ミスト筒は取りはずし、内部を洗うことができます。
アロマケースや吸気口フィルターも丸洗いすることができます。

組み立て

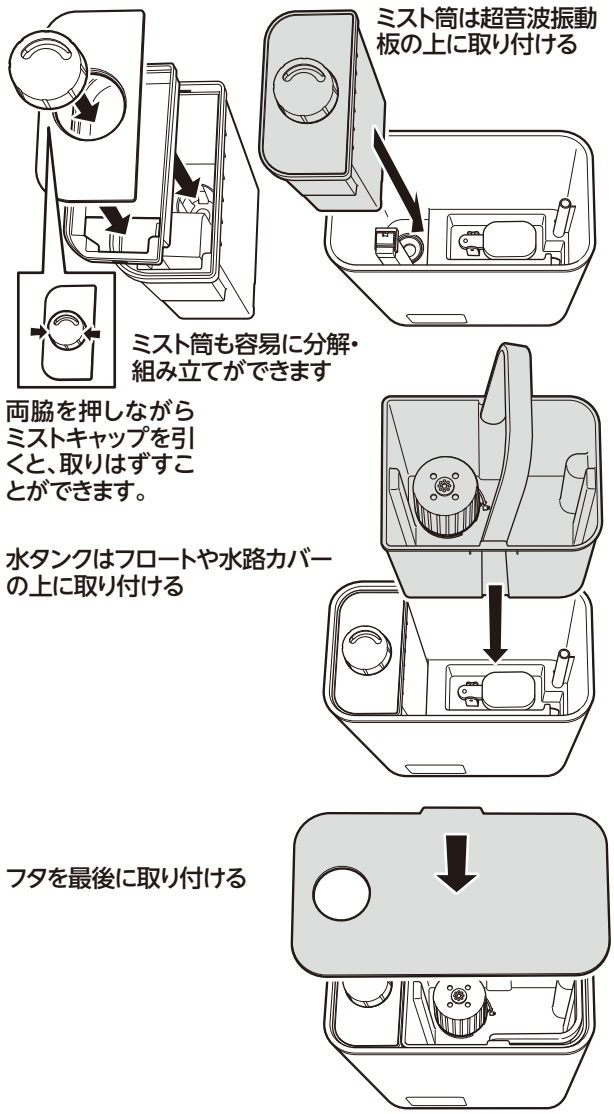
お手入れしたら、乾燥させたあと、再度元通りに組み立ててください。

⚠注意

お手入れで分解したときは、必ず元通りに組み立ててから使用・保存する。
部品の紛失・故障の原因になります。

保存のしかた

「本体のお手入れ」「水タンクのお手入れ」「水タンク以外のお手入れ」に従ってお手入れ・清掃したあと、本体内部の水分をよくふき取り、陰干しして十分に乾燥させてください。ポリ袋などに入れ、取扱説明書とともにお買い上げ時の箱に入れ、湿気の少ないところに保存してください。



修理・サービスを依頼する前に

⚠警告	**修理技術者以外の人は分解したり修理をしない。**

「故障かな?」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
電源が入らない	電源プラグがコンセントに差し込まれていない	電源プラグをしっかり差し込む
加湿しない、または加湿量が少ない	水タンクから本体（水槽）に水が過剰に供給されている	本体（水槽）から水を捨てる
	フロートが発泡緩衝材で固定されている	固定している発泡緩衝材を取りはずす(5ページ参照)
	超音波振動板（セラミックディスク）が交換時期になっている ※超音波振動板(セラミックディスク)の耐久時間は約3000時間です。	耐久時間を超えるとミストの発生量が少なくなったり、発生しなくなります。超音波振動板（セラミックディスク）の交換が必要ですので、**ドウシシャお客様相談室へご相談ください（交換は有償となります）**
	自動運転モードで設定した湿度に達している	湿度が下がると運転を開始します。またはマニュアル運転モードで使用してください(8ページ参照)
給水しても給水ランプが赤く点灯する	水タンクが本体に確実に取り付けられていない	水タンクを確実に取り付ける
	水位センサーが動いていない（底面に貼りついて動かないことがある）	水位センサーのフロート（白いドーナッツ状のもの）が動くことを確認する（13ページ参照）
においがでる	水道水以外を使用している	水タンク、水槽に残っている水を捨て、「お手入れと保存」に従って掃除する
	水タンクに水を入れてから長時間経過している	水タンクに残っている水を捨て、「お手入れと保存」に従って掃除する
操作部ランプ・表示部が暗い	最後に操作してから約1分が経過し、減光モードになっている	⏻電源ボタン以外の操作ボタンが押されると、減光モード・消灯モードが解除され、元の明るさに戻る
操作部ランプ・表示部が点灯していない	消灯モードになっている	

長年ご使用の加湿器はよく点検を

このような症状はありませんか?

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- 電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- こげ臭い匂いがする。
- その他の異常・故障がある。

このような症状の時は、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシシャお客様相談室に点検をご相談ください。

製品についての ご相談に関しては…

ドウシシャお客様相談室

☎0120-104-481

【受付時間】9:00〜17:00（祝日以外の月〜金曜日）

ドウシシャ福井家電カスタマーセンター　〒915-0801 福井県越前市家久町41-1

※ 商品名、品番をご確認のうえ、お電話をいただきますようお願いいたします。
※ お電話をいただいたときにお話いただく情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、ご了承ください。

商品に関する Q&A

お客様サポートセンター

http://www.doshisha.co.jp/support/faq/appliance.html

ドウシシャのパーツ購入は　ドウシシャマルシェ

DOSHISHA Marché ONLINE STORE 公式オンラインストアで

https://www.doshisha-marche.jp/

8B21A